



人権ポスター



倉敷南小1年 安原 碧海 さん



中島小4年 吉元 蘭 さん



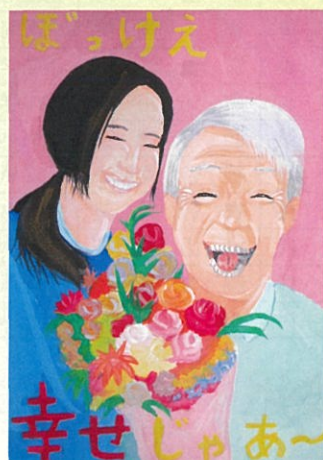
大高小2年 三村 結花 さん



倉敷南小6年 廣畑 里央那 さん



中島小2年 片岡 美緒 さん



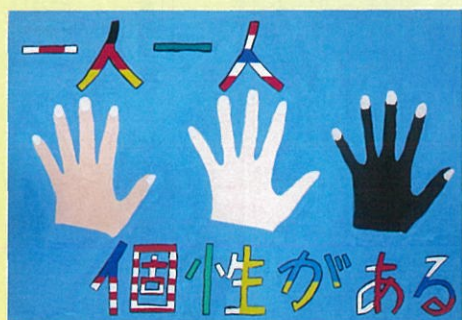
大高小5年 二神 佑多 さん



南中1年 古川 麻央 さん



旭丘小5年 三宅 貴子 さん



南中2年 一色 来美 さん



旭丘小5年 松浦 和花 さん

編集後記

本年度も、事業の中止が相次ぐ中、たくさんの方々のご協力により、「南風」(一年一回)を発行することができました。ありがとうございました。
また全戸配布に、各町内会長さんのご協力をいただき、ありがとうございました。
(写真は、新型コロナウイルスの収束を願い、足高山で打ち上げられた花火です。)



8月21日(土)

南風

南中学校区
人権だより
第55号

発行 令和4年2月28日(月)
南中学校区人権学習推進委員会
事務局 倉敷南公民館
倉敷市沖新町 68-1
TEL/FAX 086-426-0240

人権が守られ、すべての人が大切にされるまちづくりをめざして

『南風ふれあい人権作文集』を作成しました

本年度も、コロナ禍での感染リスクを考慮し、「南風ふれあい人権弁論の会」は中止となりました。

そこで、代わる事業として、小学生・中学生・成人の代表者10名の人権作文を載せた『南風ふれあい人権作文集』を作成し、発表者・推進委員の皆様、各校園等に配布しました。



題名	氏名	題名	氏名
「心を『言葉』で伝える」	大高小6年 ばんどう ちひろ 板東 千尋	「いじめを減らすために」	南中2年 みやけ あん 三宅 杏
「身近な差別」	旭丘小6年 やまと 大和さくら	「コロナ禍における子どもの人権について」	大高成人 にしぐち やすひろ 西口 康弘
「思いやりのあふれる世の中へ」	中島小6年 さいとう ほのか 齋藤穂乃花	「いじめについて」	旭丘成人 かたやま てつり 片山 徹政
「東京オリンピックとぼく」	倉敷南小6年 ながの ひろあき 長野 寛明	「普通」	中島成人 いもとみ よこ 井本美代子
「『ふつう』のちがい」	南中1年 いのうえ りんか 井上 凛花	「高齢者の人権」	倉敷南成人 まつだ はるよし 松田 晴義

9/11(土)倉敷南 敬老のお祝い



敬老の日(9月20日)に合わせ、町内の70歳以上の373人の方に、敬老と長寿をお祝いし、記念品をお配りさせていただきました。

10/30(土)大高 秋のサポートDAY! 収穫祭



校内の畑で、いも掘りや焼きいも、芋づるのリース作りなどを体験して、秋を満喫しました。

地域行事

『出会う・つながり・分かち合う』

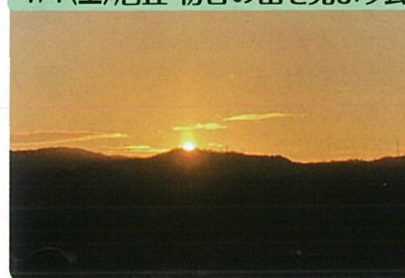
平素より青少年非行防止活動には、格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

地域の方々と共に、初日の出を見て、1年の健康祈願と新年のお祝いをしました。

南中学校ブロック少年補導活動



1/1(土)旭丘 初日の出を見よう会



令和3年度 南中学校区人権学習推進委員会名簿 (順不同)

推進委員

会長	三宅 幸男	南中学校区青少年を育てる会 旭丘支部長
副会長	下地 正	南中学校区青少年を育てる会 中島支部長
副会長	小野 孝夫	南中学校区青少年を育てる会 倉敷南支部長
監査	神田 忠佳	南中学校区青少年を育てる会 大高支部長
監査	峠田 良子	大高学区交通安全母の会 会長
委員	横溝 泰子	人権擁護委員
委員	小松原 恵子	旭丘学区主任児童委員
委員	荒川 範子	大高学区コミュニティー協議会
委員	大熊 久仁子	連島北旭丘地区民生委員・児童委員
委員	太歳 恵未	旭丘学区交通安全母の会 会長
委員	田坂 容子	中島学区交通安全母の会 会長
委員	井本 美代子	中島学区愛育委員会 会長
委員	矢次 擴	中島地区民生委員・児童委員
委員	小山 博	倉敷南地区社会福祉協議会 会長
委員	福本 淳美	倉敷南学区交通安全母の会 会長
委員	清重 篤	南中学校 PTA 会長
委員	倉光 裕子	南中学校 PTA 副会長
委員	西口 康弘	大高小学校育友会 会長
委員	板谷 美智子	大高小学校育友会 副会長
委員	梶谷 絵美	大高小学校育友会 副会長
委員	富山 利枝	大高小学校育友会 副会長
委員	脇本 貴夫	旭丘小学校 PTA 庶務
委員	永井 利明	旭丘小学校 PTA 庶務

委員	前田 沙緒里	中島小学校 PTA 副会長
委員	大和 宣隆	倉敷南小学校 PTA 会長
委員	藤本 くみ子	大高幼稚園愛育会 副会長
委員	向井 千尋	旭丘幼稚園 PTA 会長
委員	岡田 直利	南中学校 校長
委員	小田 哲史	大高小学校 校長
委員	宮原 勝志	旭丘小学校 校長
委員	安原 尚樹	中島小学校 校長
委員	三木 宏之	倉敷南小学校 校長
委員	田辺 順子	大高幼稚園 園長
委員	前田 仁美	旭丘幼稚園 園長
委員	塩田 大悟	中島幼稚園 園長

事務局員

事務局長	小野 隆夫	倉敷南公民館 館長
事務局員	松井 洋憲	南中学校 人権教育担当
事務局員	吉田 祐二	大高小学校 人権教育担当
事務局員	真田 哲生	旭丘小学校 人権教育担当
事務局員	鈴木 宏和	中島小学校 人権教育担当
事務局員	板谷 由美	倉敷南小学校 人権教育担当
事務局員	土家 健裕	倉敷公民館 啓発指導員
事務局員	浅原 好博	倉敷公民館 主任
事務局員	芦田 知代	倉敷南公民館 指導員
事務局員	古河 麻美	倉敷南公民館 指導員

人権作文

「いじめを減らすために」

南中学校二年 三宅 杏

最近、いじめのニュースが多くなってきたように感じます。いじめが原因で亡くなる人もいます。どのようなことがいじめの原因になっているのか考えてみました。

「障がいがある」「体形」「顔」「名前」「性」、また、自分の仲のよい子がとられたといったことから起こるようです。「名前」は親が一生懸命考えて付けてくれたものです。「体形」「顔」「性」だって人それぞれです。また、みんな誰かの所有物ではありません。気に入らないからといって、いじめていいはずがありません。それを理由にするのは、あまりに自分勝手すぎます。

いじめはどうしてなくならないのでしょうか。原因の一つは、インターネットの普及にあると思います。SNSなどによる誹謗中傷のように、直接相手に会わなくても言葉だけで伝えられます。相手の顔を見ないのでいじめる側は気軽にしてしまうのかもしれない。

私は、中学生になり、クラスのグループラインに入りました。ある日、そのグループで話した内容がある女の子がグループに入っていない人に話したことで、グループを退会させられたのです。それを知って私は怖くなりました。SNS上のちょっとしたことがいじめにつながるのだと感じたからです。

それでは、いじめを防ぐにはどうしたらよいのでしょうか。

まずは、相手の気持ちになって考えてみるということです。いじめている側はすっきりしていいかもしれませんが、いじめられている側の気持ちになって考えると、悲しくてたまりません。生きていたくないとさえ思うでしょう。もし、いじめた相手が亡くなったとしたら。いじめた人には罪悪感しかないと思います。一生そのことを背負って生きていくことになるのです。どんなことをするときも、相手の気持ちになって考えることが大切です。次に、辛いことがあったときに相談できる相手を作ることです。家族でも、友達でも、先生でも誰でもいいので相談することが大切だと思います。一人で悩み、抱え込まないようにするために、日頃から友達や家族とその日の出来事を話すようにするとよいと思います。

そして、周囲の人が見て見ぬふりをしないことです。見て見ぬふりをするとはいじめているのと同じ、立派な犯罪です。

いじめは小さなことから起こります。好きなものや考えなど全員が同じではありません。人は「みんな違ってみんないい」のです。それぞれを認め合い、助け合って生きていくことが大切です。

私は、相談し合ったり、時には注意し合えたりする仲間を作っていきたいです。いじめられている人がいたら勇気を出して助けたいです。同じ気持ちで過ごす人が増え、今後、いじめのニュースが減ることを願っています。

人権標語

いじめゼロ
言葉でつなぐ
おもいやり

南中2年 久保 充輝さん

人権標語

くらべない
人となりが
それによし

大高小4年 森田 陽葵さん

人権標語

個性はね
一人一人の
たからもの

旭丘小6年 浮田 莉乃さん

人権標語

ともだちと
じぶんのことを
たいせつに

中島小4年 岡本 結芽さん

人権標語

その言葉
ワフワフ言葉に
かえようよ
かみ谷つむぎ

倉敷南小3年 鏡谷 紬生さん

人権標語

「ありがとう」
感謝の言葉は
エネルギー

南中2年 土屋 希生さん

人権標語

小声でも
聞こえただけで
さげし

大高小6年 田中 祐健さん

人権標語

思いやり続けていけば種となり
笑顔の花が
あふれるよ

旭丘小6年 丹下 暖彩さん

人権標語

全員で
笑える空気を
つくろうよ

中島小6年 渡邊 愛菜さん

人権標語

知ることが
偏見なく
第一歩

倉敷南小6年 大西 厘太郎さん

人権アンケート

身近な暮らしの中での人権について、どんなことに
関心がありますか？ (回答人数：75名 複数回答)

- ★子どものいじめが何年経っても終わらない。自殺のニュースを見ると悲しくなる。
- ★高齢者が住みやすく、充実した日々を送れるようにしてもらいたい。
- ★情報モラルには教育の意義が大きい。家庭や学校で学ぶ機会を持つことが必要でしょう。
- ★障がいがある人と接したり、関わったりする時には、偏見や障がいに対する思いをとりのぞいて、個として接してほしい。
- ★在住外国人の文化講座、料理講座などで交流する機会があればよいと思う。

子ども (いじめ・虐待の防止など)	38人
高齢者 (福祉・虐待の防止など)	38人
情報モラル (インターネット・携帯電話など)	30人
障がいのある人 (偏見・差別など)	17人
女性 (セクハラ・DVの根絶など)	17人
在住外国人 (偏見・差別など)	7人
同和問題 (解決・啓発活動など)	4人
その他	

貴重なご意見
ありがとうございました